

まちづくりの目標	6	活力ある産業のまち		
政策	1	産業を支え、活力のあるまちにします		
施策	2	農業に親しめるまちにします	担当部(統括部)	生活環境部

【実現している姿】

目標	福祉農園や医療農園など多様な市民農園ができ、子どもから高齢者まで幅広い層の人たちが農業に親しんでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	地域特産物である鳥飼なすの生産が拡大し、市の伝統野菜として多くの人に知られています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
市民農園の面積	目標	—	—	—	8,000㎡	8,500㎡	9,000㎡	9,500㎡	10,000㎡	11,000㎡	13,000㎡
	実績	5,831㎡	7,216㎡	8,052㎡	9,498㎡	9,498㎡					
鳥飼なすの耕作面積	目標	—	—	—	1,800㎡	1,900㎡	1,900㎡	2,000㎡	2,000㎡	2,200㎡	2,500㎡
	実績	929㎡	1,129㎡	1,844㎡	1,844㎡	1,844㎡					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎市民農園の拡大							平成26年度事業費計 293千円
市民農園の拡大により農地の保全を図ります。また、農園利用者に作付け指導を行うとともに、指導できる人材を育成します。							
平成26年度事業	◇市民農園設置事業293千円(産業振興課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度	
計画	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	
取組実績	千里丘市民農園の未貸与地の利用促進と管理に努めた。						
成果	千里丘市民農園において、新たに1団体の利用が始まった。						
次年度課題	千里丘市民農園の未貸与地(2団体分)の貸与をすすめるとともに管理を行う。						
計画	農園利用者との情報共有と住民ニーズの把握	農園利用者との情報共有と作付けに関する情報交換	農園利用者との情報共有と作付けに関する情報交換	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成	
取組実績	農業振興会主催の農産物品評会の場所を、利便性の高いコミュニティプラザに変更した。また、品評会や農産物コンテストへの出品を促すため、各農園代表者へのダイレクトメールを実施した。加えて、積極的に農園に赴き、情報共有に努めた。						
成果	利用者から農産物品評会への出品者及び点数が49名 138点から43名 170点となり、出品数が増加した。						
次年度課題	農業振興会主催の野菜栽培技術講習会の内容を深化させ、農園利用者の参加を促す。						

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握
取組実績	農業委員会、固定資産税課と連携して、休耕地の把握を行った。					
成果	市内97筆の休耕農地を把握できた。					
次年度課題	新しい市民農園開設ニーズに応えるため、市内農地の状況把握に努め、新たな農園開設のため地域の農業委員と連携する。					
計画	—	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	誰もが親しめる多様な農園の拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎鳥飼なすの保存奨励	平成26年度事業費計 768千円
------------	---------------------

地域特産物である鳥飼なすの保存と生産拡大に努め、イベントにおける苗の販売や植付け指導、学校や高齢者施設などへの食材提供を行い、周知・振興を図ります。

平成26年度事業	◇鳥飼なす保存奨励事業768千円(産業振興課)
----------	-------------------------

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及
取組実績	農業振興会に委託し、鳥飼なすの種の保存、普及を行った。また、近代的な農法を導入し、生産性の向上に努めた。					
成果	農業振興会が鳥飼なすを栽培し、苗、生なす、漬物を販売した。また、コミュニティプラザレストランで鳥飼なすを使用した地域限定メニューの提供に協力いただいた。					
次年度課題	ローテーションで農地が変わるので、今年もより近代的な農法を取り入れ、より効率の良い鳥飼なすの収穫に努める。					
計画	—	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	—	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存の両立
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大
取組実績	市民農園利用者に鳥飼なすの苗、約300株を配布した。					
成果	鳥飼なすを市民農園で栽培してもらったことで、育成者拡大を図ることができた。					
次年度課題	鳥飼なすの育成者拡大を図り、品評会での鳥飼なす出品者の増加を図る。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	小学校等での鳥飼なすの植付け指導と給食食材提供による食育	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大
取組実績	市立小学校全3年生、幼稚園、保育所で鳥飼なすの苗の植え付け指導を実施。また、9月に小学校給食への食材提供を行った。					
成果	植付け指導した全小学校10校から農産物品評会への出品があった。農業祭には、植付け栽培の様子を記録した全校の掲示物が掲出された。					
次年度課題	小学校等と連携し、植付け指導等による食育を継続する。					
計画	—	保存用耕作農地の確保と拡大	保存用耕作農地の確保と拡大	保存用耕作農地の確保と拡大	保存用耕作農地の確保と拡大	保存用耕作農地の確保と拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

○農業振興活動の支援 平成26年度事業費計
1,873千円

将来、本市農業を担う農業者や農業に関係する団体が、地域の農業の振興を図るために行う活動やイベント開催に対し支援します。

平成26年度事業						
◇農業祭事業1,350千円・◇農業団体育成事業523千円(産業振興課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催
取組実績	11月10・11日に第32回農業祭を開催した。					
成果	地元の野菜や協賛市の特産品等の販売、農産物コンテスト等を実施し、雨天に見舞われたが2日間で9,000人が来場した。					
次年度課題	多くの市民に来場してもらえる農業祭を企画し開催する。					
計画	植木即売会の開催	植木即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	野菜苗・花即売会の開催	植木即売会の開催
取組実績	4月6日から15日で植木市即売会を開催した。					
成果	植木や花・野菜・鳥飼なすの苗、園芸用品等の販売を行い、市民農園利用者や市内農業者らを中心に来場があった。					
次年度課題	植木即売会の開催場所の検討を行う必要がある。					
計画	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催
取組実績	7月11日に農産物品評会を会場をコミュニティプラザに移して開催した。					
成果	77人から410点の出品があった。					
次年度課題	新たな会場の定着と出品数の増加を図る必要がある。					
計画	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催
取組実績	新規就農者を育成するための人・農地プランを策定した。					
成果	新規就農者育成のための情報収集ができた。					
次年度課題	次代に応じたイベントのあり方の研究					

○農地の保全						平成26年度事業費計
						10,796千円
遊休農地の発生を防止、農地の持つ緑地・農空間を緑化や災害時の一時的な避難場所として活用します。						
平成26年度事業 ◇農業委員会運営事業7,133千円・◇花とみどりの景観事業3,003千円・◇農業地域力創造推進事業660千円(産業振興課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	遊休農地パトロールの実施	遊休農地パトロールの実施	市内全農地パトロールの実施	市内全農地の把握	市内全農地の把握	市内全農地の把握
取組実績	9月24日、25日に農業委員会による農地パトロールを実施した。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	地域担当農業委員による地域の農地の状況把握が必要である。					
計画	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止
取組実績	農業委員による休耕農地所有者への事情聴取等を実施した。また、花とみどりの景観事業を活用し、緑化推進を図った。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	高齢化等による担い手不足への対応が必要である。					
計画	—	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積	人農地プランの推進による農地の集積
取組実績						
成果						
次年度課題						

○農業体験の推進						平成26年度事業費計
						913千円
学校の学習農園としての稲作実習や鳥飼なす栽培などの農業体験を通し、食育を行います。また、関係機関と連携し、民間施設や福祉施設などの農業体験を支援します。						
平成26年度事業 ◇米消費拡大推進事業913千円(産業振興課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施
取組実績	市内10小学校全校で5年生806人を対象とした農業体験学習を実施した。					
成果	体験学習を通じて、田植えや稲刈り作業の大変さを体感してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田の確保。					
計画	各校での米収穫祭実施による食育	他市事例等、食育についての研究	他市事例等、食育についての研究	食育の充実	食育の充実	食育の充実
取組実績	各校で自分たちが植付け刈り取りを行った米を使って、カレーパーティーなどが実施された。					
成果	自分たちで育てたお米のおいしさを体験してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田の確保と継続実施。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施
取組実績	市立小学校、幼稚園、保育所で鳥飼なすの植付け、栽培体験を実施した。					
成果	小学3年生については全員に植付け体験をしてもらうことができた。体験を通して自然の大切さや農作業の大変さを学んでもらうことができた。					
次年度課題	小学校等と連携して実施する。					
計画	—	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	植付け・栽培体験の対象者の拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

団体への市民農園の貸出し						平成26年度事業費計
						293千円
より多くの市民に自然とのふれあいや土に親しむことを楽しんでもらうため、市が市内の農地を借り上げ、市民農園として老人クラブ・自治会などの団体に貸し出します。						
平成26年度事業	◇市民農園設置事業293千円(産業振興課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大
取組実績	積極的に市民農園に赴き、情報共有に努めた。また、千里丘市民農園で新たに1団体が利用を始めた。					
成果	市民農園の利用団体が延べ52団体となった。					
次年度課題	農産物品評会や農産物コンテストなど農業関連イベントへの積極的参加を促す。					

鳥飼なすの保存奨励						平成26年度事業費計
						768千円
大阪府の「なにわの伝統野菜」に選ばれており、市の特産物として保存と生産拡大に取り組みます。						
平成26年度事業	◇鳥飼なす保存奨励事業768千円(産業振興課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、生産力の拡大と生産者の確保	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大
取組実績	農業振興会に委託し、鳥飼なすの種の保存、普及を行った。また、近代的な農法を一部取り入れた。					
成果	鳥飼なす苗の植え付け本数を例年より抑制しながらも例年に劣らない収量を確保できた。また、苗、生なす、漬物を販売した。					
次年度課題	より効率の良い鳥飼なすの収穫を研究する。					